

**note、物語IPのゲーム化を支援する開発プラットフォームの実証を開始
経産省「IP360」に採択、AI活用の制作ワークフローを検証**

note

IP360
Toward 20 Trillion Yen

日本のコンテンツを世界へ届ける 経産省の「IP360」に採択

noteは、物語IPをゲームへと展開するための開発プラットフォームの実証を開始します。本取り組みは、経済産業省「IP360」に採択され、開発費用の一部について国からの補助を受ける予定です。

本実証では、noteが培ってきたプラットフォーム開発・運営力と、子会社であるTales & Co.が持つIP開発・メディアミックスの知見を掛け合わせ、物語IPのゲーム展開の可能性を検証します。具体的には、物語IPのゲーム展開に必要な企画開発、シナリオ設計、アセット制作、プロトタイプ開発などの工程を支援する仕組みの構築を目指します。

AIは創作そのものを代替するものではなく、制作工程の一部を効率化するための技術として活用します。これにより、これまでコストや開発体制の面で実現が難しかった、小説やマンガをはじめとした物語IPのゲーム展開に取り組みやすくし、作品の品質を保ちながら、より多様なIPをスピーディーにとどけることを目指します。

今回は、Tales & Co.が主体となって開発するIPや、外部パートナーが保有するIP等で、検証を進め、まずはゲームというメディアを通じて制作・販売を手掛ける予定です。

noteは本実証を通じて、新規IPの発表機会を広げ、既存IPの新たな活用を後押しすることで、日本発のヒット作品を世界へとどける新しい仕組みづくりに取り組んでまいります。

本実証では、IPホルダー、出版社、制作会社、クリエイター、開発パートナーのみなさまとの連携も進めてまいります。

物語IPの展開機会を広げる、新たな制作モデルの検証

近年、アニメやゲームなどのコンテンツ制作が大規模化・長期化し、制作コストも大幅に上昇しています。こうしたなか、新規IPをスピーディーに生み出し、読者やファンの反応を得ながら育てていくうえで、マンガは重要な役割を果たしてきました。

一方で、ゲームには、物語やキャラクターをユーザーが体験できる形で届け、新規IPの発表機会や既存IPとの新たな接点を広げる可能性があります。しかし、制作コストや開発体制の面でハードルが高く、多くの物語IPにとってゲーム展開は簡単に取り組めるものではありません。

本実証では、AIを活用した制作ワークフローを取り入れることで、物語IPをゲームとして発表・展開しやすくする開発プラットフォームのあり方を検証します。

また、制作に関わるさまざまな工程にAIを組み込み、クリエイターや制作チームの判断・表現を支えるワークフローの検証も進めます。

noteが本実証に取り組む背景

日本のマンガやアニメ、ゲームは世界中で高く評価されており、政府もコンテンツ産業を半導体に並ぶ基幹産業と位置づけています（※）。2033年までに日本発コンテンツの海外売上20兆円をめざす国家目標のもと、経済産業省は予算350億円超の「IP360」事業を開始し、IPの創出から制作・流通・海外展開までを一体で支援しています。

noteはこれまで、「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、メディアプラットフォーム「note」を自社で開発・運営してきました。作品が生まれ、読者に届き、ファンの応援が次の創作につながる仕組みづくりに取り組んでいます。

また、Tales & Co.は、原作開発に加え、マンガ・映像・ゲーム・音声・グッズなどへの複合的な展開に取り組んでいます。ゲームシナリオ制作などの実績も重ねながら、AIを活用した創作支援にも継続的に取り組んできました。

本実証では、こうしたnoteのプラットフォーム開発・運営力、Tales & Co.のIP開発・制作の知見、そしてAI活用の実績を掛け合わせ、日本発の物語IPがゲームとして広がるための新しい制作モデルを検証します。

（※）経済産業省「エンタメ・クリエイティブ産業戦略～コンテンツ産業の海外売上高20兆円に向けた5ヵ年アクションプラン～」（2025年6月）

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/entertainment_creative/pdf/20250624_1.pdf

採択の概要

本取り組みは、経済産業省が実施するコンテンツ産業成長投資支援事業費補助金のうち「開発プラットフォーム構築支援」に採択されました。今回開発する物語IPのゲーム化を支援する開発プラットフォームは、当社の中長期的な企業価値向上に大きく寄与するものと考えております。

経済産業省「IP360 -Toward 20 Trillion Yen-」コンテンツ産業支援メニュー

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/contents/menu_contents.html

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2

設立日：2011年12月8日 代表取締役CEO：加藤貞顕

コーポレートサイト：<https://note.jp>

Tales & Co.株式会社

物語とクリエイターの可能性をさらに広げるべく、2024年5月にnote株式会社の子会社として設立。クリエイターの企画や作品のエージェント、コンテンツの自社制作、外部企業からの企画受託を通じて、出版社・映像会社・配信プラットフォーム・ゲーム制作会社等と連携しながら、物語を多様なかたちでとどける事業を展開しています。登録クリエイターは1,000名を超え、物語投稿サイト TALES（テイルズ）をnote株式会社と共同で運営しています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2

設立：2024年5月24日 代表取締役社長：萩原猛

URL：<https://talesandco.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口：<https://ir.note.jp/inquiry>